

請 願 文 書 表

請 願 第 3 号	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める請願書
受 理 年 月 日	令和7年9月29日
紹 介 議 員	安藤 薫
請 願 趣 旨	
少子高齢化社会がすすむ日本において、高齢者の社会参加をこれまで以上に支援するしくみが重要です。 高齢者の加齢性難聴による機能の低下は、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とし、うつや認知症の原因となっています。加齢性難聴者にとって補聴器は、生活の質も落とさずに心身とも健やかにすごすことを保障する大切なものです。認知症予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもつながります。 全国市長会では介護保険制度の提言の中で「加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設すること」を採択し国に要望しています。 また、補聴器助成自治体は東京23区全区、新潟県30全市町村、大阪府21市町など43都道府県464市区町村と急速に増え、補聴器購入助成制度を求める意見書採択は、摂津市議会を含め8府県議会341市町村議会に上ります。（全日本年金者組合調査2025年5月30日現在） 摂津市においても、加齢性難聴者に対する補聴器購入助成を早期創設することを要望するものです。	
請 願 項 目	
1. 加齢性難聴者の補聴器購入に対する市の助成制度を創設すること 2. 高齢者の難聴を早期に発見できるよう取り組みをすすめること	
請 願 者	摂津市香露園26-28 摂津生活と健康を守る会 会長 山崎 雅数
付 託 委 員 会	民生常任委員会